

南あわじ市 平成 21 年度 事務事業評価シート 新規 継続
(事業 委託 補助用)

Ⅰ 基本事項

		整理番号	443
事業名	赤ちゃんおでかけ応援事業		予算科目
担当部課名	健康福祉部	少子対策課	会計
電話	0799 - 44 - 3040		款
事業分類	<input type="checkbox"/> 義務的(法定)事務	法的根拠 (法令、条例、要綱等)	一般会計・1
	<input checked="" type="checkbox"/> 任意的(自治)事務		民生費・3款
南あわじ市総合計画 施策体系	まちづくりの柱	安らぎづくり__元気あふれ__住んで快適なまちづくり__	項
	まちづくりの目標	子どもを産みたい__育てたいまち(子育て)	児童福祉費・2項
	施策目標	子どもや要介護者をもつ共働き夫婦などが、安心して生活できるよう、地域全体で支える	目
該当する事業について「 」を選択		施策的事業	業務委託
			負担金補助

Ⅱ Plan (計画、事業内容、事業背景)

事業概要	対象(誰を・どのような状況の人に)	新生児のいる家庭	対象人数(人)
			300
	目的	意図(どのような状態になってもらいたいのか、事業を実施する「本来の目的」を記入) 「ゆめるんお出かけステッカー」を車に貼ることで、赤ちゃんが車に乗っていることを知らしめて交通安全を促すとともに、「子どもを産みたい 育てたいまち」をPRする。	
	実施内容	(何をどのような手段・内容・手順により目的を達成させるのか) 出生届提出時に「ゆめるんお出かけステッカー」を配布する。	
	背景	(どのような現状・課題・要望によって事業が実施されるに至ったか、他の自治体の動向など) 市の少子対策に係る広報活動を行うにあたり、市のチャイルドシートの着用率が低いことから、交通安全への意識向上と併せて、効果的に実施できる。	
	事業実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 民間・その他 ()	
	事業期間	<input type="checkbox"/> 平成 年度 ~ 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 設定なし	
合併協議事務調整内容	(合併前における事業実施団体と合併時における事務調整経緯)		
	<input type="checkbox"/> 旧緑町 <input type="checkbox"/> 旧西淡町 <input type="checkbox"/> 旧三原町 <input type="checkbox"/> 旧南淡町 <input type="checkbox"/> 旧広域事務組合 <input checked="" type="checkbox"/> 新市から		

Ⅲ Do (事業活動・成果、投入資源・コスト)

事業に対する 目標の設定	指標名	出生届け者数(希望者)			指標単位	
					人	
	指標説明 (指標算出 方法等)	出生届け者にマグネットシールを配布				
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
	目標値			300	400	400
	実績値			280		
	達成度(%)	-	-	93.3	-	-
目標値設定 の考え方	車にマグネットシールを張るための理解がいる。					
資源配分 (インプット)		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
	直接事業費(千円)	0	0	170	160	160
	印刷製本費			170	160	160
	財源(千円)					
	国					
	県					
	起債					
	その他					
	一般財源[A]	0	0	170	160	160
	人件費(正規職員)[B](千円)	0	0	279	282	0
	平均人件費(1日当り)	29.9	30.1	27.9	28.2	28.2
	事業量1(事業に要した日数)			10	10	
事業量2(事業に要した人数)			1	1		
年間経費([A]+[B])	0	0	449	442	160	
「目的」対象人数1人当り経費(円)	0.0	0.0	1,496.7	1,473.3	533.3	
経費に関する 補足説明						

IV Check (事業の自己評価・一次評価)

		単位	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	
達成度	目標達成度	%	-	-	93.3	-	-	
	(事業目標の達成度分析、問題点・課題などを記入。) 配布数はほぼ達成している。						自己評価 (5点評価)	3
有効性	(住民満足度の分析、問題点・課題などを記入。) 配布枚数も少なく、PRにつながっていない現状がある。						自己評価 (5点評価)	2
			単位	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
効率性	事業単価	円	0.0	0.0	1,496.7	1,473.3	533.3	
	(効率性・コストの分析、問題点・課題などを記入。) 市の少子対策の広報を考えた事業であるが、費用対効果を考えると効率が悪い。						自己評価 (5点評価)	2
必要性	公共性の高低	<input type="checkbox"/> 高	<input checked="" type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低				
	(公共性、市民ニーズ、緊急性などを分析、問題点・課題などを記入。) 交通安全への意識の向上がチャイルドシートへの着用率を向上させることができる。						自己評価 (5点評価)	3
総合評価	自己評価をふまえた現状分析		費用対効果を考えると、今後の見直しが必要である。					
			<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>評価グラフ</p> </div>					

V Action&Plan (改善の内容及び次年度以降の計画)

	平成22年度にできる改善・改革	平成23年度以降にできる中期的な改善・改革
今後の方向性とその理由	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input checked="" type="checkbox"/> 手法見直し	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 手法見直し
	従来の「ゆめるん」交通安全ステッカーの配布を継続しつつ、より効果的に少子対策の広報ができるよう工夫する。	
(現状維持以外の改善方法)	「ゆめるん」をデザインしたランドセルカバーやエコバックを配布する。	
改善によって期待される効果	効果(アウトカム)面	効果(アウトカム)面
	全小学校区での子育て支援のPRが可能であり、子どもときから「ゆめるん」に親しみを覚え、将来の子育て支援につなげていくことができる。	
	コスト面	コスト面
	従来の予算内で実施する。	
(現状維持の場合も記入)	仮に 事業を中止、統廃合した場合に予測される影響(プラス面、マイナス面) 市が重要施策として実施している少子対策事業に対する広報・啓発効果が薄れることが想定される。	